(19)日本国特許庁(JP)　(12)特　許　公　報(B2)　(11)特許番号
特許第3715129号
(P3715129)
(45)発行日　平成17年11月9日(2005.11.9)　(24)登録日　平成17年9月2日(2005.9.2)

(51)Int.Cl.[7]　F I
A63F　5/04　A63F　5/04　512C

請求項の数 3　(全 13 頁)

(21)出願番号　特願平11-85884
(22)出願日　平成11年3月29日(1999.3.29)
(65)公開番号　特開2000-279571(P2000-279571A)
(43)公開日　平成12年10月10日(2000.10.10)
審査請求日　平成15年2月3日(2003.2.3)

(73)特許権者　000132747
株式会社ソフィア
群馬県桐生市境野町７丁目２０１番地
(74)代理人　100098073
弁理士　津久井　照保
(72)発明者　井置　定男
群馬県桐生市宮本町３－７－２８

審査官　土屋　保光

(56)参考文献　特開平０７－２８９６８６（ＪＰ，Ａ）
実開昭６４－０２６０８９（ＪＰ，Ｕ）
実用新案登録第３０５０４６８（ＪＰ，Ｙ２）

最終頁に続く

(54)【発明の名称】遊技機

(57)【特許請求の範囲】

【請求項１】

可変表示装置における可変表示ゲームをスタート操作部とストップ操作部を操作して行う遊技機において、

遊技者側に突出した状態で形成されるとともに、前記スタート操作部とストップ操作部とを配設した操作盤を備え、

前記操作盤は、

遊技者側に下り傾斜した上面部分と、該上面部分の前端縁から垂下する前面部分とを有し、

前記前面部分の左右一側に、前面と上下面を開放した凹部を形成し、該凹部内に操作ノブを前方に向けたレバー状のスタート操作部を配設するとともに、前記凹部を除いた前面部分に前記スタート操作部と同一列上にストップ操作部を配設し、

前記スタート操作部の操作ノブの最先端を前記ストップ操作部よりも突出させない状態で配置したことを特徴とする遊技機。

【請求項２】

前記上面部分には、識別情報の役を複数種類表示し、可変表示ゲームで賞態様が成立したことを条件として、成立した賞態様の役を報知する光学的報知手段を備えたことを特徴とする請求項１に記載の遊技機。

【請求項３】

前記凹部よりも左右外側に位置する操作盤の上面部分に手載置面部を形成したことを特

徴とする請求項１または２に記載の遊技機。
【発明の詳細な説明】
【０００１】
【発明の属する技術分野】
本発明は、パチンコ機を設置するパチンコ島に設置可能であって、可変表示装置における可変表示ゲームをスタート操作部とストップ操作部を操作して行う遊技機に関するものである。
【０００２】
【従来の技術】
遊技球を取り込んで可変表示ゲームを行う従来の遊技機（所謂球スロ式の遊技機）としては、例えば特許第２７７４２９０号に記載のものがある。この遊技機は、パチンコ機の外枠（機枠）と同じ寸法の前後開放枠に対して前方から板状の前面枠を蝶着し、この前面枠に可変表示装置の表示窓を設けるとともに、表示窓のすぐ下方にスタートレバーやストップボタンなどの操作部を、従来のパチスロ式遊技機と同様に配置したものである。
【０００３】
【発明が解決しようとする課題】
しかしながら、外形寸法をパチンコ機の外形寸法に合わせてパチンコ島に設置できるように構成した従来の球スロ式遊技機は、前後寸法をパチスロ式遊技機よりも遥かに小さく設定してパチンコ島に取り付け可能としなければならないので、パチンコ島に取り付けていない状態、例えば組立工場や遊技店で立てておくと、不安定な状態である。そして、倒れた場合には、スタートレバーが突出しているので、このスタートレバーが折れてしまう。
【０００４】
また、パチンコ島の椅子は、パチンコ機で遊技を行うことを前提として位置決めされている。このため、パチンコ島に球スロ式遊技機を設置して遊技を行うと、遊技者側に突出した状態で設けられているスタートレバーが操作し難い。このため、疲労し易く、長時間に亘る遊技を困難にしている。
【０００５】
本発明は上記した問題点に鑑み開発されたもので、その目的は、パチンコ島に設置でき、しかもスタート操作部の操作を無理なく行うことができ、また、万一倒してもスタート操作部が損傷し難い遊技機を提供しようとするものである。
【０００６】
【課題を解決するための手段】
本発明は上記目的を達成するために提案されたもので、請求項１に記載のものは、可変表示装置における可変表示ゲームをスタート操作部とストップ操作部を操作して行う遊技機において、
遊技者側に突出した状態で形成されるとともに、前記スタート操作部とストップ操作部とを配設した操作盤を備え、
前記操作盤は、
遊技者側に下り傾斜した上面部分と、該上面部分の前端縁から垂下する前面部分とを有し、
前記前面部分の左右一側に、前面と上下面を開放した凹部を形成し、該凹部内に操作ノブを前方に向けたレバー状のスタート操作部を配設するとともに、前記凹部を除いた前面部分に前記スタート操作部と同一列上にストップ操作部を配設し、
前記スタート操作部の操作ノブの最先端を前記ストップ操作部よりも突出させない状態で配置したことを特徴とする遊技機である。
【０００７】
請求項２に記載のものは、前記上面部分には、識別情報の役を複数種類表示し、可変表示ゲームで賞態様が成立したことを条件として、成立した賞態様の役を報知する光学的報知手段を備えたことを特徴とする請求項１に記載の遊技機である。
【０００８】

請求項３に記載のものは、前記凹部よりも左右外側に位置する操作盤の上面部分に手載置面部を形成したことを特徴とする請求項１または２に記載の遊技機である。

【０００９】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施の形態を図面に基づいて説明する。

図１は本発明に係る遊技機であって遊技媒体としてパチンコ球を使用する球スロ式遊技機１の正面図、図２は球スロ式遊技機１をパチンコ島２に設置した状態を示す側面図、図３は表示窓装飾パネルを開いた状態の球スロ式遊技機の斜視図である。

【００１０】

球スロ式遊技機１は、図１に示すように、左右幅と高さを、パチンコ機３の機枠（外枠）の左右幅と高さ（例えば関東地域向けでは左右幅Ｗ５１８㎜×高さＨ８１０㎜）に揃えてパチンコ島２に設置可能とした前後開放の機枠（外枠）４と、この機枠４の前面開口を前方から閉塞可能な状態で蝶番５により開閉可能に取り付けた額縁状の前面部材６とにより本体枠を構成し、前面部材６の表面にはその高さのほぼ中央に、可変表示領域として縦長な第１図柄表示窓部７ａ、第２図柄表示窓部７ｂ、第３図柄表示窓部７ｃを左右に並べて開設するとともに、これら図柄表示窓部７の下方に形成した操作盤９に操作部を設けた表示窓装飾パネル１０を開閉可能に設け、この表示窓装飾パネル１０の上方に、装飾ランプ部１１とボーナスゲーム進行表示部１２を備えた上部装飾パネル１３を開閉可能に設け、表示窓装飾パネル１０の下方に、球貯留皿（受皿）１４を設けるとともに、球貯留皿１４の一側（右側）に灰皿１５を設けた下部装飾パネル１６を開閉可能に設け、前面部材６の裏側に設けた可変表示装置１７の第１図柄表示部２０ａが上記第１図柄表示窓部７ａ内に、第２図柄表示部２０ｂが第２図柄表示窓部７ｂ内に、第３図柄表示部２０ｃが第３図柄表示窓部７ｃ内にそれぞれ見えるように構成されている。

【００１１】

前記操作盤９は、遊技者側（すなわち前方）に下り傾斜した上面部分９ａと、この上面部分９ａの前端縁から垂下する前面部分９ｂとを有し、図２および図３に示すように、遊技者側に突出した状態で形成されている。そして、後述するスタート操作部２１と灰皿１５を球貯留皿１４の一側と他側に振り分けて配置し、スタート操作部２１の操作性の向上を図るために、操作盤９の前面部分９ｂの一側（本実施形態では左側であり、他側の灰皿１５とは反対側）に、少なくとも前面と上面が開放した凹部２２を形成し、この凹部２２内に前記スタート操作部２１を配置する。本実施形態の凹部２２は、図４に示すように、水平方向の断面形状を半円形に形成して、前面と上下の面を開放してあり、上面開放の左側の上面部分９ａが、手載置面部２３となる。

【００１２】

なお、本実施形態の操作盤９は、本実施形態では表示窓装飾パネル１０の下部に一体化して形成したが、下部装飾パネル１６の上部に一体化して形成してもよいし、あるいは後に詳説するが球貯留皿１４の上面部分と前面部分を兼用してもよい。

【００１３】

そして、操作盤９に設ける操作部は、図１及び図４に示すように、球貯留皿１４に対して灰皿１５とは反対側である左側に形成した凹部２２内に、操作ノブ２１ａを前方に向けたレバー状のスタート操作部２１を配置し、第１図柄表示部２０ａに対応した押し釦式の第１図柄停止操作部２４ａ、第２図柄表示部２０ｂに対応した第２図柄停止操作部２４ｂ、第３図柄表示部２０ｃに対応した第３図柄停止操作部２４ｃをそれぞれ球貯留皿１４の上方に配置し、これら図柄停止操作部２４の右側にクレジット操作部２５を配置し、それぞれを横一直線上に、しかも機枠４の高さの下から３分の１の高さよりも低く配置されている。なお、前記スタート操作部２１は、操作ノブ２１ａの最先端が凹部２２から少し突出してもよいが、押し釦式の図柄停止操作部２４よりも突出させないことが望ましい。また、前記第１，第２，第３図柄停止操作部２４ａ，２４ｂ，２４ｃが本発明のストップ操作部として機能する。また、図１中の符号２６は、クレジットの精算スイッチである。

そして、本実施形態では、機枠４の高さＨが８１０㎜なので、前記スタート操作部２１、

第１、第２、第３図柄停止操作部２４ａ，２４ｂ，２４ｃ等は、機枠４の下端から２５０mmの高さに配置してある。

【００１４】

また、操作盤９の上面部分９ａには、内部に設けたランプ、ＬＥＤ等の発光源の発光により各操作部の状態を示す状態表示部として、スタート操作部２１の上方にスタート可能表示部３０を、第１図柄停止操作部２４ａの上方に第１図柄停止表示部３１ａを、第２図柄停止操作部２４ｂの上方に第２図柄停止表示部３１ｂを、第３図柄停止操作部２４ｃの上方に第３図柄停止表示部３１ｃを横一直線上に設け、これらの右端には、組み合せ線を選択するベット操作部３２を設ける。そして、各図柄停止表示部３１の奥に、図５に示すように、賞態様が成立する識別情報の組み合せ、すなわち役を表示するとともに、各賞態様の価値に応じて付与される賞球数などを表示した役表示部３３を設けてもよい。そして、これらの役表示部３３の内部にはランプやＬＥＤ等の発光源を設け、可変表示ゲームで賞態様が成立したことを条件として、すなわち遊技制御装置において、予め設定された複数種類の賞態様（役）の内でどの役が成立したかを判断し、この成立した役に対応した役表示部３３を遊技制御装置が選択し、この選択した役の役表示部３３を、発光源の点灯または点滅により報知できるように構成してもよい。したがって、本実施形態では、前記ランプ等の発光源と、役を表示した役表示部３３が光学的報知手段として機能する。

【００１５】

なお、本実施形態では、図１に示すように、図柄表示窓部７の右側にクレジット表示部３４および賞球表示部３５を設け、クレジット表示部３４にはクレジット数を可視表示し、賞球表示部３５には賞態様が成立して付与される賞球数を可視表示できるように構成してある。

【００１６】

可変表示装置１７は、図６および図７に示すように、前面が開放したフレーム４０内の上下に遊転リール４１を回転自在に設けるとともに、両遊転リール４１のほぼ中央に、パルスモータ４２により回転する駆動リール４３を設け、数字、アルファベット、図柄等の識別情報を記したフィルム状の無端ベルト４４を上下の遊転リール４１に掛け渡すとともに、駆動リール４３の爪４５を、無端ベルト４４の両側縁に等間隔で開設した孔４６内に嵌合し、駆動リール４３に無端ベルト用位置検出機構（図示せず）を設けて単位表示ユニットを構成し、この単位表示ユニットを３つ並べて構成されている。したがって、フレーム４０の前面開口が図柄表示部２０として機能して、無端ベルト４４の表面に記された識別情報を表示する。

【００１７】

そして、本実施形態における可変表示装置１７は、スタート操作部２１等の操作部が従来の遊技機よりも低い位置に配置されて操作部の上方が広いので、従来よりも上下寸法を大きく採ることができ、また、駆動リール４３が遊転リール４１よりも大径なので、無端ベルト４４の高さの中央近傍部分が上下部分よりも図柄表示窓部側に張り出された状態で回転表示されるので、見やすい。

【００１８】

なお、識別情報の組み合せの方向を示す横、斜めのベットライン（賞成立ライン）が、パチンコ機の遊技領域の高さに位置するように、可変表示装置１７の無端ベルト４４を適宜な寸法で縦長に設定すると、パチンコ島２に設置した状態で椅子に座った遊技者から見やすくなって望ましい。

【００１９】

また、各単位表示ユニットのフレーム４０の高さのほぼ中央から前方に向けて、先端が無端ベルト４４の最前部分よりも前方に位置する突出部５０を設け、この突出部５０の先端部分にはゴム等の弾性被覆材で被覆してある。したがって、本実施形態における可変表示装置１７は、組立工場で保管したり、搬送したりする際に、積み重ねても前記突出部５０が支えとなって無端ベルト４４の表面を保護することができる。このため、無端ベルト４４が他の物に接触して汚れたり損傷する虞れがなく、取り扱いが容易である。

【００２０】
また、前面部材６の裏側、即ち球スロ式遊技機１の内部には、前記した可変表示装置１７の他に、図に示すように、上部に球貯留タンク５１を設け、この球貯留タンク５１からパチンコ球を整列しながら導出する球導出樋５２、球導出樋５２により導出したパチンコ球を排出する球排出ユニット５３などを設け、球排出ユニット５３から下方に延設した球流下樋５４の下端出口５４′を前記球貯留皿１４に連通し、また、前記下部装飾パネル１６の裏面に、球貯留皿１４から導入したパチンコ球を所定数宛取り込む球取込ユニット５５を設けてある。
【００２１】
球取込ユニット５５は、所定数（例えば５個）の球を取り込む機能を備えていればどのような構成でもよい。図９に示す球取込ユニット５５の実施形態は、球貯留皿１４に連通する球流路６０をハウジング６１内に形成し、この球流路６０の出口の少し上流側に球停止部材６２を出没可能に設け、この球停止部材６２の球１個分上流側に第１球検出器６３を、第１球検出器６３の上流側に第２球検出器６４を配置し、上記球停止部材６２には電磁ソレノイド６５を接続する。第２球検出器６４は、取り込みの１単位を満たす数、すなわち本実施形態では５個以上の球があるか否かを監視するものであり、本実施形態では５個目の球の有無を監視している。そして、電磁ソレノイド６５が消磁状態では球停止部材６２の先端に形成した球係止部６６がスプリング６７の付勢力により球流路６０内に突入した状態で停止するので、球貯留皿１４からの球は停止したままである。しかし、遊技制御装置からの信号により電磁ソレノイド６５が励磁すると、球停止部材６２が軸６８を中心にして回動することにより球係止部６６を球流路６０から後退させるので、球流路６０内の球が流下する。そして、電磁ソレノイド６５は５個目の球が通過して球停止部材６２の球係止部６６が６個目の球の流下を阻止するタイミングに合わせて消磁する。したがって、この球取込ユニット５５は、遊技制御装置からの信号に基づいて電磁ソレノイド６５が作動して、５個の球を取り込むことができ、取り込まれた球は、球出口６０′から排出され、後述するパチンコ島２内の球回収樋に流下する。
【００２２】
本実施形態では、前記球貯留皿１４に賞球が排出され、この球貯留皿１４内のパチンコ球を球取込ユニット５５が所定数宛取り込み、所定数に満たないことを第２球検出器６４が検出した場合には、球取込ユニット５５の球停止部材６２の下流側に設けた流路切換弁（図示せず）が流路を遊技者側に切り換えるとともに、球取込ユニット５５の電磁ソレノイド６５が作動して、所定数以下のパチンコ球を遊技機前面の球返却部に返却する。
【００２３】
この様な構成からなる球スロ式遊技機１をパチンコ島２に設置する場合について説明する。
図２に示すパチンコ島２は、遊技機を背中合わせに設置可能な所謂両面島であり、床面に設置した基台部７０上に膳板７１を遊技者側に突出した状態で設け、この膳板７１上に下横材７２を長手方向に架設するとともに、下横材７２から所定の上下間隔をあけて上横材７３を長手方向に架設することにより遊技機や球貸機を設置する設置空部を形成し、上横材７３の上方に幕板７４を起立した状態で設け、両側の幕板７４間（パチンコ島２の上部）に、球補給樋７５を島長手方向に沿って支持材（図示せず）で支持した状態で延設し、基台部７０間（パチンコ島２の下部）に球回収樋７６を島長手方向に延設し、この球回収樋７６の傾斜下端出口を球揚送装置（図示せず）の球入口に連通させ、球揚送装置の出口に設けた上部タンク（図示せず）の球出口に上記球補給樋７５の傾斜上端を連通してある。そして、設置空間の遊技機設置位置の前方には椅子７７がパチンコ機３で遊技を行う時の姿勢を基準にして、すなわち遊技者が座ってパチンコ機３の打球発射操作部を操作したり、上皿７９に遊技球を投入する際に腕を不自然な程上げることなく操作できる高さに座面を合わせた状態でパチンコ島２の両側に設ける。
【００２４】
この様な構成からなるパチンコ島２にパチンコ機３を設置するには、例えば図２中右側に

示すように、パチンコ機３の上皿７９、下皿８０、打球発射操作部を遊技者側、即ち椅子７７側に向けた状態でパチンコ機３を設置空部内に押し入れ、機枠の上部を上横材７３に、下部を下横材７２にそれぞれ固定し、パチンコ機３の球貯留タンク５１に、球補給樋７５の枝樋の下端球出口を臨ませる。パチンコ機３で遊技を行って打球が入賞すると、球貯留タンク７８内のパチンコ球が賞球として上皿７９に排出され、球貯留タンク７８内の球が不足すると、球補給樋７５から枝樋８１を介して球が補給される。なお、いずれの入賞口にも入賞しなかったアウト球や入賞具に入賞したセーフ球は、パチンコ機３の後方下部に設けてあるボックス８２を介して球回収樋７６内に流下し、球揚送装置に回収される。

【００２５】

一方、パチンコ機３を設置した同じパチンコ島２に球スロ式遊技機１を設置するには、パチンコ機３と同様に設置することができる。例えば図２中左側に示すように、球スロ式遊技機１の球貯留皿１４や図柄停止操作部２４等を遊技者側、即ち椅子７７側に向けた状態で球スロ式遊技機１を設置空部内に押し入れ、機枠４の上部を上横材７３に、下部を下横材７２にそれぞれ固定し、裏側上部の球貯留タンク５１に、球補給樋７５の枝樋８１の下端球出口を臨ませる。なお、この様にして球スロ式遊技機１を設置すると、遊技機１の前面に設けた球貯留皿１４の最先端が、膳板７１の先端よりも奥に位置する。したがって、球貯留皿１４が邪魔になることはなく、また、遊技を終了して球貯留皿１４内の球を取り出す際に、パチンコ機３の場合と同様に、膳板７１上に載せた球箱（図示せず）内に球貯留皿１４内の球を抜き落とすことができる。

【００２６】

この様に、本発明に係る球スロ式遊技機１は、パチンコ機３を設置するパチンコ島２にパチンコ機３と同様に設置することができる。したがって、設置されていたパチンコ機３の稼働率が低下した場合にはそのパチンコ機３を取り外して、代わりに球スロ式遊技機１をそのまま、即ちパチンコ島２を改造することなく設置することができ、この逆もできる。そして、球スロ式遊技機１における遊技で付与される賞は、パチンコ機３の場合と同様に、球貯留タンク５１内のパチンコ球を賞球として球貯留皿１４に排出すればよい。また、球貯留タンク５１内のパチンコ球が不足した場合には、パチンコ機３への球補給と同様に、球補給樋７５から枝樋８１を介して球貯留タンク５１に補給できる。さらに、球スロ式遊技機１で使用されたパチンコ球、すなわち球取込ユニット５５の作動により球貯留皿１４から取り込んだパチンコ球は、球取込ユニット５５の球排出樋８３からパチンコ島２下部の球回収樋７６に流下し、パチンコ機３から排出されたパチンコ球と共に回収される。したがって、パチンコ島２にパチンコ機３を設置して稼働する場合と同じ設備で球スロ式遊技機１を稼働することができ、設備変更に要する時間、労力、費用を大幅に節約できる。

【００２７】

そして、パチンコ島２に設置した球スロ式遊技機１で遊技する場合に、スタート操作部２１と灰皿１５が球貯留皿１４の一側と他側に振り分けられているので、遊技者が喫煙しながらでも容易に遊技ができ、また、スタート操作部２１が凹部２２内に設けられて前方に大きく突出していないので、操作盤９上面の手載置面部２３上に手首側を載せたまま親指で操作ノブ２１ａを操作可能で、しかもスタート操作部２１などの操作部が遊技機１の高さの下から３分の１の高さよりも低く配置されているので、椅子７７に座った遊技者はパチンコ機３で遊技を行っている姿勢と同様の姿勢で、すなわち腕の高さを不自然な程上げることなく、また手前に迫り過ぎない状態でスタート操作部２１や図柄停止操作部２４を自然体で操作することができる。また、スタート操作部２１や図柄停止操作部２４などの操作部が同一列上に配置されているので、遊技者は手を一直線に移動して操作することができる。

したがって、腕の動きが人間工学上からも自然且つ容易であり、長時間に亘って遊技を行っても疲労の度合は、従来の同種遊技機に比べて少ない。

【００２８】

スタート操作部２１などの操作部が遊技機１の高さの下から３分の１を越えた高さにする

と、毎回の操作のたびに腕を高く上げなければならないので、疲労し易い。因に、遊技機１の高さの下から３分の１という高さは、一般的なパチンコ機３の上皿７９に球を投入する際の手の高さである。したがって、パチンコ機３で遊技する際の姿勢に違和感を覚えない一般的な遊技者の場合、球スロ式遊技機１の操作部が、遊技機１の高さの下から３分の１の高さよりも低い場合には自然な姿勢で遊技の操作を行うことができ、このために疲労が少ないと推測される。逆に３分の１の高さよりも高いと、腕の動きに違和感を感じてしまい、長時間にわたる繰り返し操作を行うと疲労が激しくなる。

【００２９】

この様な観点からすると、球貯留皿１４の上面部分と前面部分を操作盤９の上面部分９ａと前面部分９ｂとして活用し、ここに前記実施形態と同様に、スタート操作部２１や図柄停止操作部２４等の操作部を左右同一列に、しかも遊技機１の高さの下から３分の１の高さよりも低く配置してもよい。また、球貸しにプリペイドカードを使用して、当該球スロ式遊技機１内に設けてある球排出ユニット５３を球貸しに使用できるように構成してもよい。例えば、図１０に示すように、球貯留部を形成した皿本体１４ａが球の下流側に向かって次第に上面開口が狭くなるので、皿本体１４ａの前面や下面等を覆う皿装飾部１４ｂの上面部分を操作盤の上面部分９ａとして、前面部分を操作盤９の前面部分９ｂとしてそれぞれ活用し、前記実施形態と同様に、前面部分９ｂの一側、例えば皿本体１４ａの上面開口が狭くなるために上面部分９ａの前後幅が増大されている右側に寄せて凹部２２を形成し、この凹部２２内にレバー状のスタート操作部２１を設け、凹部２２よりも左側の前面部分９ｂに、第１図柄停止操作部２４ａ、第２図柄停止操作部２４ｂ、第３図柄停止操作部２４ｃ、クレジットの精算スイッチ８４と球貸スイッチ８５を横一列に配置してもよい。

【００３０】

なお、前記した第１の実施形態では球貯留皿１４の右側に並べて灰皿１５を配置し、球貯留皿１４の左寄りの前面にスタート操作部２１を配置したが、図１０に示した第２の実施形態の様に、スタート操作部２１を球貯留皿１４の右側に配置した場合には、灰皿１５の位置を球貯留皿１４の左側にしてもよい。要するに、スタート操作部２１と灰皿は、球貯留皿１４の左右に振り分けて配置されていればよい。

【００３１】

また、球貯留皿１４は、パチンコ機３と同様に、賞球などのパチンコ球を貯留する上皿と、オーバーフローしたパチンコ球が排出される下皿とを別個に設けて構成し、上皿内に貯留したパチンコ球を球取込ユニット５５により所定数宛取り込み、所定数に満たない場合には球取込ユニット５５と流路切換弁の作動により所定数未満のパチンコ球を下皿に排出したり、上皿内のパチンコ球を球抜き操作部の操作により下皿に流下するように構成してもよい。

【００３２】

【発明の効果】

以上説明したように本発明によれば、以下の効果を奏する。

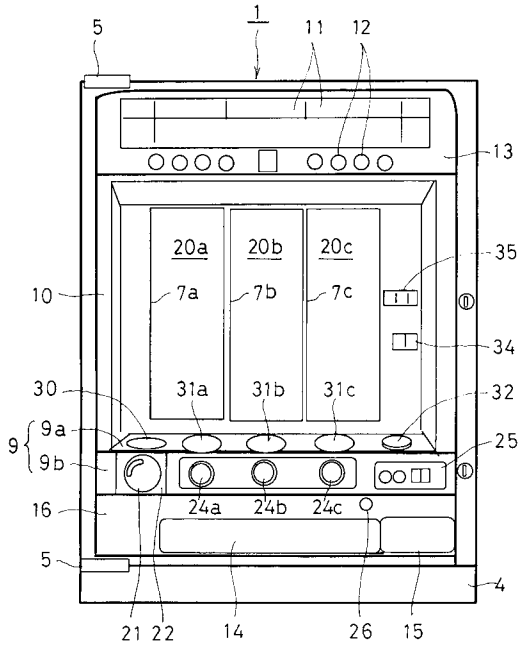
請求項１の発明によれば、遊技者側に突出した状態で形成されるとともに、スタート操作部とストップ操作部とを配設した操作盤を備え、操作盤は、遊技者側に下り傾斜した上面部分と、該上面部分の前端縁から垂下する前面部分とを有し、前面部分の左右一側に、前面と上下面を開放した凹部を形成し、該凹部内に操作ノブを前方に向けたレバー状のスタート操作部を配設するとともに、凹部を除いた前面部分に前記スタート操作部と同一列上にストップ操作部を配設し、スタート操作部の操作ノブの最先端を前記ストップ操作部よりも突出させない状態で配置したので、可変表示ゲームを行うたびの毎回の操作が自然な手の動きで行うことができる。したがって、長時間に亘って繰り返し操作しても、手の疲労を軽減することができる。

また、組立工場や遊技店で遊技機を搬送したり、床面上に立てておいて、万一、倒れたとしても、スタート操作部が集中的に損傷することを従来よりも軽減することができる。したがって、遊技機の取り扱いが容易になる。

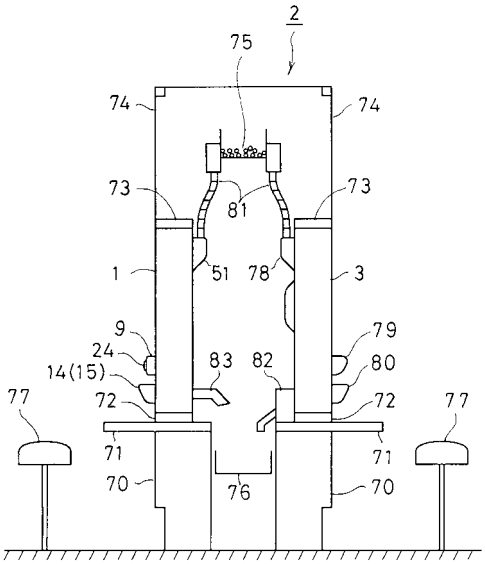
【００３３】
請求項２の発明によれば、識別情報の役を複数種類表示し、可変表示ゲームで賞態様が成立したことを条件として、成立した賞態様の役を光学的報知手段により報知するようにしたので、賞態様が成立したときに、どの賞態様が成立したのかを簡単、かつ迅速に把握することができる。
【００３４】
請求項３の発明によれば、凹部よりも左右外側に位置する操作盤の上面部分に手載置面部を形成したので、スタート操作部を操作する際に、手を手載置面部上に載せた状態でスタート操作部を操作しながら遊技を行うことができる。したがって、長時間に亘って継続して遊技操作を繰り返した場合の手の疲労を一層軽減することができる。
【図面の簡単な説明】
【図１】球スロ式遊技機の正面図である。
【図２】一方の面に球スロ式遊技機を、他方の面にパチンコ機を設置したパチンコ島の構成を示す側面図である。
【図３】表示窓装飾パネルを開いた状態における球スロ式遊技機の斜視図である。
【図４】スタート操作部を凹部内に収納した操作盤の平面図である。
【図５】役表示部を設けた操作盤の平面図である。
【図６】可変表示装置の斜視図である。
【図７】可変表示装置の内部構造を示す側面図である。
【図８】球スロ式遊技機の背面図である。
【図９】球取込ユニットの内部を示す正面図である。
【図１０】球貯留皿に操作部を設けた第２実施形態の平面図である。
【符号の説明】
１　球スロ式遊技機
２　パチンコ島
３　パチンコ機
４　球スロ式遊技機の機枠
５　蝶番
６　前面部材
７　図柄表示窓
９　操作盤
１０　表示窓装飾パネル
１１　装飾ランプ部
１２　ボーナスゲーム進行表示部
１３　上部装飾パネル
１４　球貯留皿
１５　灰皿
１６　下部装飾パネル
１７　可変表示装置
２０　図柄表示部
２１　スタート操作部
２２　凹部
２３　手載置面部
２４　図柄停止操作部
２５　クレジット操作部
２６　精算スイッチ
３０　スタート可能表示部
３１　図柄停止表示部
３２　ベット操作部
３３　役表示部

３４　クレジット表示部
３５　賞球表示部
４０　フレーム
４１　遊転リール
４２　パルスモータ
４３　駆動リール
４４　無端ベルト
４５　駆動リールの爪
４６　無端ベルトの孔
５０　突出部
５１　球貯留タンク
５２　球導出樋
５３　球排出ユニット
５４　球流下樋
５５　球取込ユニット
６０　球流路
６１　ハウジング
６２　球停止部材
６３　第１球検出器
６４　第２球検出器
６５　電磁ソレノイド
６６　球係止部
６７　スプリング
６８　軸
７０　基台部
７１　膳板
７２　下横材
７３　上横材
７４　幕板
７５　球補給樋
７６　球回収樋
７７　椅子
７８　パチンコ機の球貯留タンク
７９　パチンコ機の上皿
８０　パチンコ機の下皿
８１　枝樋
８２　ボックス
８３　球排出樋
８４　精算スイッチ
８５　球貸スイッチ

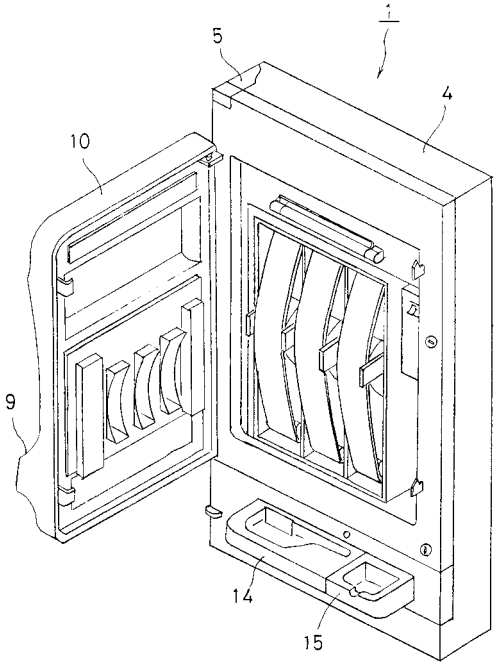
【図１】


1
5
11
12
13
20a
20b
20c
35
10
7a
7b
7c
34
30
31a
31b
31c
32
9
9a
9b
25
24a
24b
24c
16
5
4
21
22
14
26
15

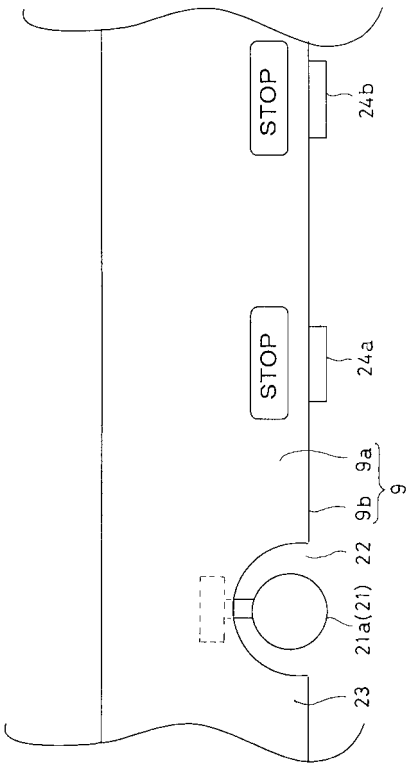
【図２】


2
75
74
74
73
81
73
1
51
78
3
9
79
24
83
82
80
14(15)
72
72
77
77
71
71
70
76
70

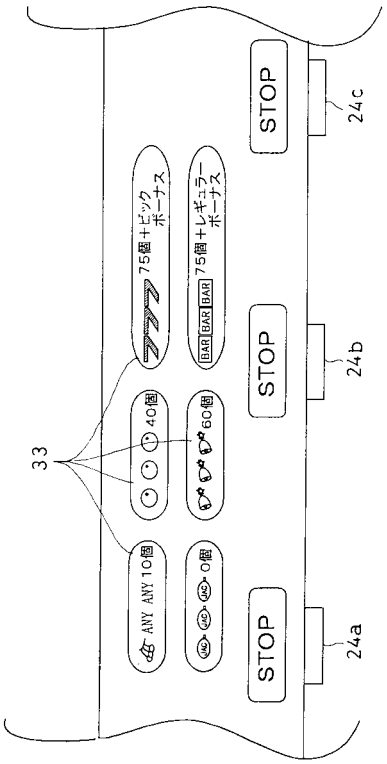
【図３】


1
5
4
10
9
14
15

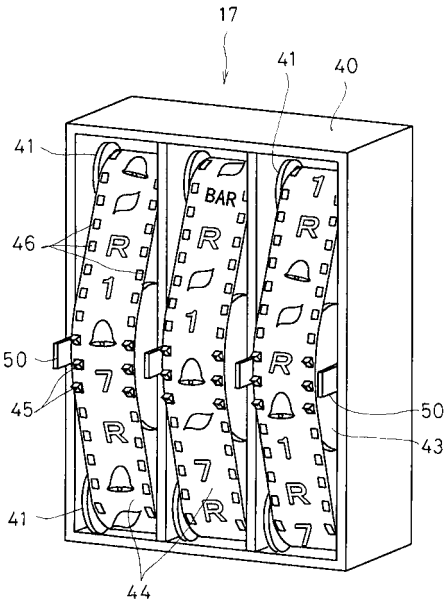
【図４】


STOP
24b
STOP
24a
9a
9b
9
22
21a(21)
23

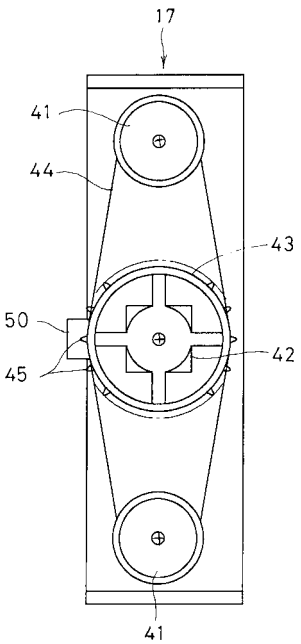
【図５】


STOP
STOP
STOP
24c
24b
24a
33
75個＋ビッグボーナス
75個＋レギュラーボーナス
BAR BAR BAR
40個
60個
ANY ANY 10個
0個

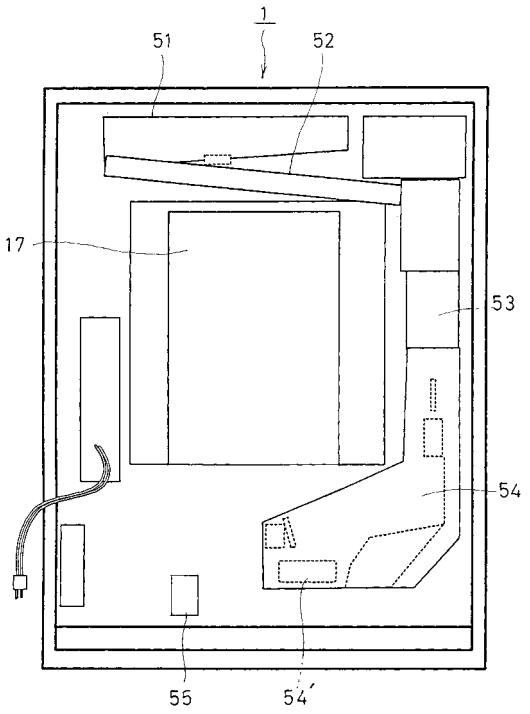
【図６】


17
41
40
41
46
50
45
41
44
50
43
BAR

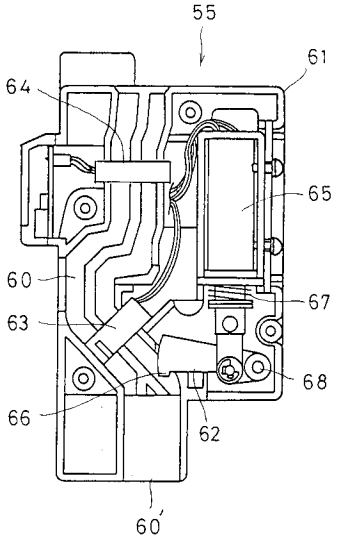
【図７】


17
41
44
43
50
42
45
41

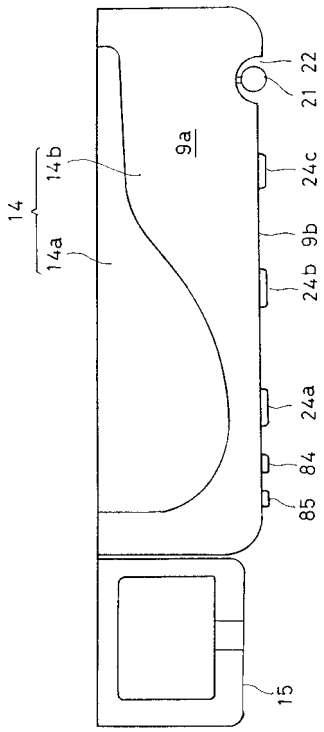
【図８】


1
51
52
17
53
54
55
54'

【図９】


55
61
64
65
60
67
63
68
66
62
60'

【図１０】


21
22
9a
14b
24c
14
14a
9b
24b
24a
84
85
15

フロントページの続き

(58)調査した分野(Int.Cl.[7], ＤＢ名)
A63F 5/04